

リバーロキサバン錠「バイエル」 を服用される患者さんにご家族の方へ

非弁膜症性心房細動

このお薬は、血液が固まる働きを抑え、
心房で血液が固まりやすくなっている状態を改善することで、
血栓が血管に詰まって生じる疾患(血栓塞栓症)が起こるのを防ぎます。

先発医薬品と原薬、添加物及び製法が同一の
オーソライズド・ジェネリック(AG※)医薬品です。



●錠剤は実物大です。

リバーロキサバン錠「バイエル」を服用される前に

次のような方は服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前にお薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある方。
- 出血している方。出血する危険性が高い方(消化管潰瘍または頭蓋内出血発症後日が浅い方。脳脊髄や眼の手術後日が浅い方。胃潰瘍や十二指腸潰瘍、気管支拡張症または肺出血の既往歴がある方。悪性腫瘍、止血障害、凝固障害がある方など)。
- 肝障害、腎障害、急性細菌性心内膜炎、低体重がある方。
- 妊婦、妊娠している可能性がある方、または授乳中である方。
- 他のお薬を使用している方(お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください)。

※オーソライズド・ジェネリック(AG)とは?

『許諾を受けたジェネリック医薬品』という意味です。
先発医薬品メーカーから許可を得て製造した、原薬、添加物及び製法等が先発医薬品と同一のジェネリック医薬品です。

(裏面も必ずお読みください)

服用方法について

- 通常、成人は主成分として1回15mgを1日1回食後に服用します。なお、腎障害がある場合には、1回10mgを1日1回に減量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- 飲み忘れた場合は、気づいた時点ですぐに1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間まで12時間以上空けてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。

医師または薬剤師の指示なしに、自分の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

服用中に注意していただきたいこと

次のような場合には、このお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝え、相談してください。

- これらの症状に気づいた場合（主な副作用として報告されています）
鼻血、歯肉出血、結膜出血、血尿、貧血、挫傷など
- 出血が長引く場合や、けがの範囲が大きい場合
〈けがをしないように注意してください。血が止まりにくくなっています〉
- 歯の治療、内視鏡検査や手術などを受ける場合
- 他の医療機関で治療を受ける場合や、薬局などで他の薬を購入する場合

その他の重要な注意

- まれに下記のような症状があらわれ、【 】内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。
 - ・ 吐き気、嘔吐、頭痛【出血（消化管出血、頭蓋内出血など）】
 - ・ 吐き気、からだがだるい、白目や皮膚が黄色くなる【肝機能障害・黄疸】
 - ・ から咳、血の混じった痰、息苦しい、息切れ、発熱【間質性肺疾患】
 - ・ 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざがでやすい、出血が止まりにくい【血小板減少】
 - ・ 尿量が減る、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい【急性腎障害】

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。

上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

連絡先(医療機関名)



第一三共エスファ株式会社

PP-Ri_GX-JP-0032-19-08

EPRIA1P00401-1

2024年11月作成